

公益社団法人 日本経営工学会
第 34 期第 3 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 11 月 3 日（金）18:00～21:05

場 所：パシフィコ横浜 423 室

出席者：（理事） 石井和克，開沼泰隆，内田耕平，大久保寛基，外館晃，中出康一，西岡久充，
八木英一郎，片岡隆之，西村泰一，辻村泰寛，中島健一
（監事） 河野宏和，皆川健多郎

欠席者：なし

議決事項

1. 第 34 期第 2 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、（資料：3-1）に基づき、第 34 期第 2 回理事会議事録（案）が提示され、全会一致で承認された。

2. 企画・行事担当事業における会員外への依頼状発信について

企画・行事担当理事より、（資料：3-11）に基づき、企画・行事担当事業における会員外への依頼状について、会長名での発信を基本とする提案がなされ、全会一致で承認された。さらに、その他の事業における会員外への依頼状発信に関しても、従来から慣例的に行われていたものは、各担当理事名や支部長名等で依頼状を発信し、それ以外は原則として会長名で依頼状を発信することが全会一致で承認された。なお、会長名とともに必要に応じて公印を押印したうえで依頼状を発信することも確認された。

3. 2017 年秋季大会 Best Presentation Award の審査結果の件

表彰担当理事より、（資料：3-12）に基づき、受賞者 5 名の報告があり、全会一致で承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. 第 34 期 JIMA 組織図案

石井会長より、（資料：3-3）に基づき、第 34 期 JIMA 組織図案が提示され、全会一致で承認された。なお、現状は「研究プロジェクト」が「6 研究部門」の管轄下にあるが、2018 年度以降は「6 研究部門」と「研究プロジェクト」が並列することから、次年度はその部分の組織図が変更されることも確認された。

2. 入会申請書フォーマットへの追加事項案

会員担当理事より、（資料：3-4）に基づき、入会申請書フォーマットへの追加事項案が提示され、全会一致で承認された。

3. 経営システム誌の見直し案について

経営システム誌編集担当理事より、（資料：3-13）に基づき、経営システム誌の見直し案が提示され、2018 年度までの大方針について説明がなされた。2018 年度（Vol.28）に関して、①特集は

2号刊行し、冊子版とともに電子版（電子版は学会 Web サイトに掲載）も発行する、②経営システム誌編集委員会と庶務委員会との合同ワーキンググループを設置し、特集外の記事は各委員会との調整を経て随時学会 Web サイトに移行する、③アクセスログなどから電子化に対する費用対効果を分析し、2018 年中に改革計画の提案を行う、④見直し担当の経営システム誌編集委員会副委員長として、新しく斎藤文氏を選出することが全会一致で承認された。

4. CIE との MOU について

国際渉外担当理事より、(資料：3-14)に基づき、JIMA と CIE との MOU 案が提示され、意見等がある場合は、2017 年 11 月 10 日(金)までに国際渉外担当理事に連絡することが確認された。

5. ORCID 学協会コンソーシアムについて

国際渉外担当理事より、(資料：3-15)に基づき、ORCID 学協会コンソーシアムについての説明がなされ、ORCID の科研費共同申請への参加可否について協議された。今回については、参加を見送ることが全会一致で承認された。ただし、今後も ORCID に関する理解を深めつつ、継続的に検討を進めることが確認された。

6. JIS 原案作成について

国際渉外担当理事より、(資料：3-16)に基づき、平成 30 年度 JIS 原案作成公募についての説明がなされた。JIS 原案作成について、長期的な視点で今後の方向性を検討することが確認され、研究委員会と国際渉外委員会で協議の上、原案作成を行い、次回以降の理事会にて継続して審議することとなった。

7. 外部組織からの招待状や贈答品などの取り扱いについて

国際渉外担当理事より、外部組織（関連の他団体）からの招待状や贈答品などの取り扱いについての説明がなされた。招待状については、事務局に届いた時点で理事会メーリングリストに配信し、希望者には先着順で配布すること、記念品等については原則として学会（事務局）にて保管することが全会一致で承認された。

8. 支部と支部委員会の役割に関する検討

支部担当理事より、(資料：3-17)に基づき、支部と支部委員会の役割に関する検討事項が提示された。支部活動の活性化に向けた理事会と支部との連携強化の必要性等の意見が出され、今後も継続して検討を続けることとなった。

9. 2018 年秋季大会について

大会担当理事より、2018 年秋季大会について、リゾート地、もしくは関東地方の大学で 10 月頃の開催を計画中であることが報告された。関東地方の大学での開催の場合、金曜日・土曜日開催では教室の確保が困難であることを鑑み、2018 年秋季大会については、金曜日・土曜日開催を基本とするものの、場合によっては従来通りの土曜日・日曜日開催になる可能性があることも示され、開催月日及び開催曜日については大会委員会に一任することが全会一致で承認された。

10. 経営工学 3 団体連携事業に関する覚書について

内田副会長より、(資料：3-5)に基づき、経営工学 3 団体連携事業に関する覚書の改訂案が提示された。「(連携事業)」の「(4) ものづくり・ことづくりの基盤定着に貢献する事業」の『もの

づくり・ことづくり』について、『もの』及び『こと』が平仮名表記か片仮名表記かによって意味合いが異なってくることから、経営工学3団体連携事業運営委員会にて再度確認した上で、本覚書を締結することが全会一致で承認された。

11. その他

なし

報告事項

1. 会員担当理事より、(資料:3-2)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 内田副会長より、(資料:3-5)に基づき、経営工学3団体連携運営委員会議事録についての報告がなされた。
3. 会員担当理事より、(資料:3-6)に基づき、JIMA PR用パンフレットについての報告がなされた。
4. 財務担当理事より、(資料:3-18)に基づき、財務状況及びシナリオの検討、四半期の予実算についての報告がなされた。
5. 研究担当理事より、(資料:3-7)に基づき、研究部門と企業間の秘密保持契約についての報告がなされた。
6. 表彰担当理事より、(資料:3-8)に基づき、表彰スケジュールについての報告がなされた。
7. 人材育成担当理事より、(資料:3-9)に基づき、実践教育プログラム(実践教育現場研修)実施についての報告がなされた。
8. 人材育成担当理事より、(資料:3-9)に基づき、東京開催の“技術士を目指そう会”についての報告がなされた。
9. 人材育成担当理事より、(資料:3-9)に基づき、東京以外の地区での“技術士を目指そう会”についての報告がなされた。
10. 企画・行事担当理事より、(資料:3-19)に基づき、第3回産学連携研究交流会の企画進捗についての報告がなされた。
11. 論文誌編集担当理事より、(資料:3-10)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
12. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料:3-21)に基づき報告がなされた。開沼副会長からは、財務状況についての検討、それに基づくシナリオ分析を行い、理事会で共有した旨の報告がなされた。内田副会長からは、会員の分析をさらに進めていること、入会申請書フォーマットやJIMA PR用パンフレットの作成、経営工学3団体連携事業運営委員会を開催した旨の報告がなされた。
13. 国際担当渉外理事より、(資料:3-20)に基づき、協賛等承諾リストについての報告がなされた。

14. その他

- 庶務担当理事より、APIEMS 理事候補者の推薦に関するメール審議が否決されたことについて、その異議内容の報告がなされた。

※次回第 34 期第 4 回理事会は、平成 30 年 1 月 27 日（土）15:00～18:00、東京都市大学 渋谷サテライトクラス 地下 1 階 A 教室にて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印